

訓練の教材

【動画 みんなにやさしい避難所づくり】

避難所で起こりがちな問題(高齢者、子育て、トイレ等)について考え、安心して過ごせる避難所づくりで役立つ備品や対策について紹介します。女性防災士が、ダンボールベッド、パーテーション、授乳室(ミニテント)を組み立て、トイレの衛生対策について解説します。

動画を
見る



第1問 問題
足腰の悪いお年寄りが、
トイレに行くのが面倒なので、
水分をとらないでじっとしています。
・どんな病気を引き起こすでしょうか？
・どんな対策が必要でしょうか？
(一時停止して、グループで話し合ってみよう)



【訓練用の避難所備品を
パーティで貸し出し
しています(無料)】

ダンボールベッド

パーテーション

ミニテント

簡易トイレ

など

【男女共同参画の視点で取り組む
防災ハンドブックをホームページで公開しています】



県民
向け



支援者
向け



詳しくは
こちら

※自治会・地域での防災研修、避難所訓練や避難所運営などにご活用ください。

〈動画、避難所備品、防災ハンドブックの問合せ先〉

(公財)とちぎ男女共同参画財団 TEL 028-665-7706

配慮が必要な方の
備えに

親子で考える
とちぎ防災
BOOK



要配慮者のための
災害時に備えた
食品ストックガイド



アレルギーっ子ママ
が考えた防災
ハンドブック



男女共同参画の視点で取り組む 地域で共に支え合う

防災

子育て、介護…
避難所で
必要な配慮って？

なぜ女性の
防災リーダーが
必要なの？

地域での
防災訓練の
ポイントは？



災害時「要配慮者」(高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児・病気を抱えている人・外国人など)と、その要配慮者の介護・看護に携わる人、子育て中の人、ひとり暮らし、ひとり親家庭など…。様々な立場の人が暮らす地域で、災害が起きたら、私たちはどんな行動をとればよいのでしょうか？

いつ起こるか分からない災害に備えて、地域でみんなが共に支え合う・男女共同参画の視点で考えてみましょう。



地域の防災対策

地域では、自治会や学区などで「自主防災組織」の結成が進められています。「自主防災組織」では、ふだんから消火・救出救護・避難誘導・給食給水班などを決めておき、防災マップ作製、防災訓練、備蓄品の確認などをします。避難行動要支援者を把握し、災害時に誰が避難支援をするかも話し合っておきます。災害時は、消防署や住民との連絡、救助、初期消火、避難誘導、給食・給水などを行います。

地域防災リーダーの現状

これまで、地域防災のリーダーである「自主防災組織の役員」や「避難所責任者(自治会長等)」に女性が少ないため、「ケア役割(子育て、介護・介助、栄養・衛生等)の視点が不足し、要望が反映されにくい」ことが課題となってきました。避難所などでは、女性のリーダーが少ないため、ケアをする人の視点での配慮が不足してしまいがちです。



女性をはじめ多様なリーダーの育成と参画が必要

災害時は、日常の固定的な性別役割分担意識が強くなり、問題が起こりやすくなります。災害・復旧・復興時に男女や多様な立場の住民が協力して取り組めるよう、日頃から家庭や地域・職場での男女共同参画や多様性を進め、支え合う地域づくりが必要です。

1

自治会役員等に女性や若手を増やし、自主防災組織等に女性等が参画しやすくしましょう。

2

防災資機材や備蓄品選びに、介護・育児等を担うケアをする人の視点を反映しましょう。

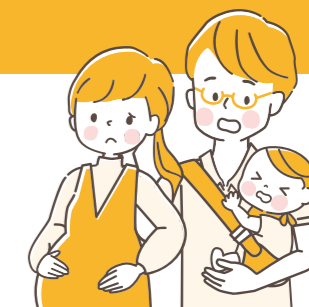
3

防災会議や審議会、自治会、PTA等で、女性をはじめ多様なリーダーを増やしましょう。

避難のとき

【避難行動要支援者】

- 乳幼児、子ども、高齢者、障害者、病人、妊産婦、そしてそのケアをする人は避難が難しく、支援が必要だった。



避難所では

【家事・子育て・介護・介助・炊き出し負担の増加】

- ライフライン(電気・水道・ガス)が途絶えた中で、食糧の確保、炊き出し、洗濯、水くみなど、子育てや介護などの負担が増加した。
- 避難所で「炊き出しは女性の仕事」となり、長期間担当しなければならなかった。

【物資の不足、物資ニーズの把握が困難】

- 育児や介護用品、生理用品などが不足した。物資配布係などが男性のため、女性や子育て・介護者のニーズの把握が困難だった。

【プライバシー問題】

- 避難所で間仕切りや更衣室・授乳室がなく、着替える場所やプライバシーの問題があった。

【少数派の困難】

- 家族に乳幼児、障害者、要介護の高齢者等がいて、周りへ迷惑をかけることを恐れ、避難所に行かず在宅や車中泊を選んだ。

【安全面の不安】

- 停電で街や避難所、仮設トイレが暗く、犯罪や性被害が発生した。
- 子ども虐待やDV(ドメスティック・バイオレンス)の相談件数が増加したり深刻化した。

【避難所リーダー】

- 避難所責任者の多くが男性で、責任者に過度な負担が集中した。
- 避難所の役員に女性が少なく、ケア役割の視点でのニーズが反映されにくかった。

【男性の過労、孤独死】

- 救助、復旧、復興の仕事で、過労が続いた。
- 災害後の男性の飲酒量が増加した。仮設住宅などでの孤独死の7割が男性だった。

安心・安全な避難所づくり

プライバシーの確保

- 高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児のいる家族、病気を抱えている人、ひとり暮らしの女性など状況に応じて、間仕切りするなど快適な居住スペースを確保
- 男女別の更衣室や女性専用スペースを用意
- ※ 女性専用スペースには女性用品(生理用品、おりものシート、下着等)を準備
- 男女別洗濯物干し場の用意
- 性別違和を抱える方のために、誰でも使えるトイレ(更衣室、シャワー室)を設置

子育てや介護・看護する人への配慮

- 乳幼児のいる家族に配慮した授乳室の設置と物資の配布
- 個室があれば、医務室、妊産婦・乳児家庭、介護・看護家庭、障害者の家庭などに振り分ける。感染症にかかった人の部屋も必要
- 子どもたちの学習スペースで、学習支援ボランティアによる学習の時間を確保

トイレなどの安全対策

- トイレの個室は「女性:男性=3:1」の割合で設置
- 屋外に仮設トイレを設置する場合、男女に分けて間を仕切る。安全のため照明を設置
- トイレを衛生的に保つため、使い方のルールを決めて掲示し、係を決めて交替で清掃
- 女性用トイレに生理用品やおりものシートを、どのトイレにも尿取りパッドや大人用紙おむつなどを設置

多様な立場の人たちのために

- 情報を掲示板でお知らせ。必要なニーズ把握のために、意見箱設置や、物資要望アンケート調査を行う。
- 移動が困難な人、視覚・聴覚障害者、外国人などへの情報の伝達方法を工夫し、避難者の中で、伝達係を決めてサポートを行う。

避難所設営イメージ図

(体育館などの場合)

ボランティア例

女性用品は、女性スタッフが手渡しましょう。



相談お茶コーナー

相談員ボラ

鏡

女性更衣室

女性専用スペース

化粧品
女性用品

授乳室

炊き出しスペース

- 炊き出しは男女共同作業で
- 食物アレルギー対策が必要

炊き出しボラ

玄関

掲示板
(外国語案内も)

トイレ
(男性)

トイレ
(多目的)

トイレ
(女性)

- 女性用品
- 相談窓口
- 案内カード

- 屋外に仮設トイレを設置する場合、男女に分けて間に仕切りを入れたり、照明の設置を。衛生を保つ消毒液を設置。
- 多目的トイレも設置しましょう。
- 水が流れない時は、便座にゴミ袋とその上に携帯トイレ袋をかぶせて使用します。

洗濯物干し場
(女性専用)

洗濯ボラ

洗濯物干し場
(男性専用)

ステージ

イベントや簡単な体操など、誰もが利用できるフリースペースを確保し、心身のリフレッシュやストレス解消を図りましょう。

体操ボラ
娯楽ボラ
マッサージボラ

男性更衣室

鏡
衛生用品等



2015年関東・東北豪雨時、小山市内小学校体育館

居住スペース

- 高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児のいる家族、ひとり暮らしの女性など、配置を配慮して間仕切りを
- 畳やダンボールを敷くとよい
- 通路を確保し、ホコリ防止のため、ついたてを設置
- ダンボールベッドを早期に導入する。(床のホコリ吸入防止、寒さ対策、起立サポート等になる)

絵本

託児ボラ

子どもスペース

おもちゃ



おしゃべりスペース
(お茶飲み場)

傾聴ボラ



福祉スペース

介護・介助や看護が必要な方※
(看護師・介護士等を配置)

ボランティア受付

物資配布

受付ボラ

意見箱

事務局

食料・物資保管室



さまざまなボランティアを配置しましょう。

医師、保健師
助産師
心理士相談等
専門家相談
警官待機所

専門家ボラ

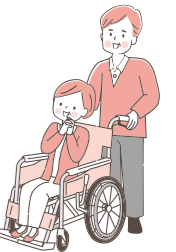
学習スペース

学習ボラ



屋外

- ペット専用スペース
- ゴミ置き場
- 喫煙場所



※早めに「福祉避難所」や病院への移送が必要です。

個室があれば、振り分けを

- 医務室・救護室
- 感染症にかかった人※
- 妊産婦※
- 夜泣きする赤ちゃんがいる家庭※
- 介護が必要な高齢者がいる家庭※
- 障害をお持ちの方がいる家庭※

避難所で使えるチェックシート

避難所
チェックシート



備蓄
チェックシート



物資要望
アンケート



授乳
アセスメント
シート



【避難期間が長期化する場合、2次避難所(ホテル・旅館等)の開設と移送が必要です。】

みんなが参加しやすい防災訓練

避難所の運営方法

【自主運営組織に多様な立場のリーダーを配置】

- 避難者を中心とした自主運営組織で避難所を運営します。
 - ・避難所責任者や各班のリーダーに、男女双方を配置
 - ・子育てや介護中などの人の代表を決めて、多様なニーズを運営に反映



| | | | |
|----------|------------|----------|----------|
| 総務班 | | | |
| 被災者管理班 | _____ 地区代表 | 子育て代表 | 介護・看護代表 |
| 施設管理・防犯班 | _____ 地区代表 | 高齢者代表 | 障害者代表 |
| 救護班 | _____ 地区代表 | 外国人代表 | 女性代表 |
| 物資班 | _____ 地区代表 | _____ 代表 | _____ 代表 |
| 食料班 | _____ 地区代表 | | |
| 衛生班 | | | |
| 情報広報班 | | | |

様々な事情で自宅避難をしている人もいます。物資の配分なども、配慮しましょう。

【みんなで共同作業を】

- 「物資係は男性、炊き出しは女性」などと性別で決めず、共同で作業しましょう。
- 災害ボランティアの支援を積極的に活用しましょう。

【物資のニーズ把握と配布】

- 女性用品(生理用品、下着等)のニーズ把握係には女性を配置します。
- 女性用品の配布は女性用トイレや女性専用スペースで配布するなど工夫します。
- 子育てや介護などに必要な物資のニーズは、聞き取りシートで把握します。



避難所での暴力防止、安全の確保

- 明かりの消えた夜間や、人気のない場所では犯罪や性暴力が増える恐れがあります。警察官や自警団による見回りが必要です。防犯ブザーを持ち、複数で行動しましょう。
- 被災や避難生活など生活環境の激変による、DV(ドメスティック・バイオレンス、夫婦や恋人など親密な関係にあるカップル間の暴力)、セクハラ、子ども虐待などの深刻化を防ぎましょう。

【避難所では】

- 相談コーナーや意見箱を設置
- 相談ポスターの掲示や女性トイレなどに相談窓口案内カードを置いて相談先を周知



相談先

女性のさまざまな悩み、配偶者からの暴力相談
とちぎ男女共同参画センター 相談ルーム
TEL 028-665-8720
 【月～金】9～20時 【土・日】9～16時
 (暴力相談以外は16時まで)



防災訓練・学習会を開催

自治体・自治会単位だけでなく、PTAの研修、こども会、子育て支援センターのママ・パパ学級・・・など、場所や対象を変えて実施しましょう。



【避難所シミュレーション】

- 地域の避難所での配置を考えたり、防災資機材や備蓄品を確認しましょう。

【防災まち歩き、防災マップづくり】

- みんなでまちを歩き、避難場所や危険な所を確認、マップをつくりましょう。
- 避難行動要支援者を介助・救助しながら、避難所までの経路を確認しましょう。



【覚えておこう、救急法】

- 基礎的なケガの手当てなど救急法の講習会を開きましょう。
- PTAの親子学習会やママ・パパ学級で子どもの救急法を学びましょう。

【防災館に行こう】

- いざというとき役立つ情報がたくさん! 家族、こども会、地域の研修で行ってみましょう。

栃木県防災館 宇都宮市中里町248
TEL 028-674-4843

訓練事例

【パーティとちぎ男女共同参画センターホームページで公開】

- 県内の様々な訓練事例を紹介しています。

〈例〉
 ・女性防火クラブ: ミニ避難所設営訓練、パッキング
 ・青年会議所: 帰宅困難サバイバル(避難所宿泊訓練)
 ・中学校: 防災学習、HUG(避難所運営ゲーム)、避難所づくり
 ・防災士ママクラブ: 防災食ワークショップ



訓練事例

- パーティ防災フォーラムで実施した避難所訓練を紹介しています。



女性更衣室



授乳室、おむつ替えスペース



男女別、誰でもトイレ



簡易トイレ、消毒液、生理用品、おむつ等配置